

「令和元年中の交通事故死者数について」

○ 令和元年中の交通事故死者数（24時間以内）

3, 215人（前年比－317人、－9.0%）

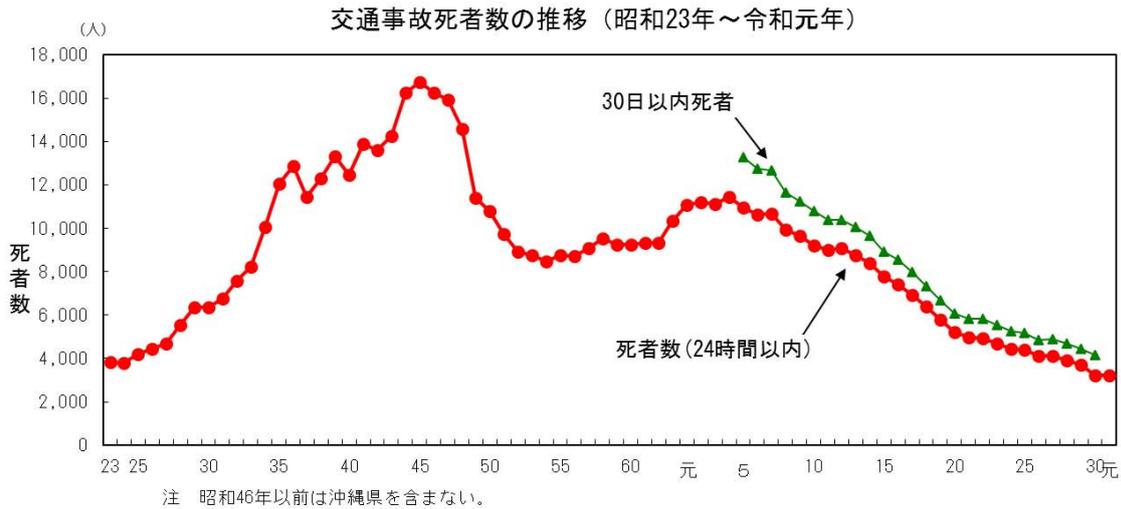
【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	高齢者（65歳以上）死者数の推移	4
5	死者3人以上の交通事故の発生状況	5
6	国家公安委員会委員長のコメント	6

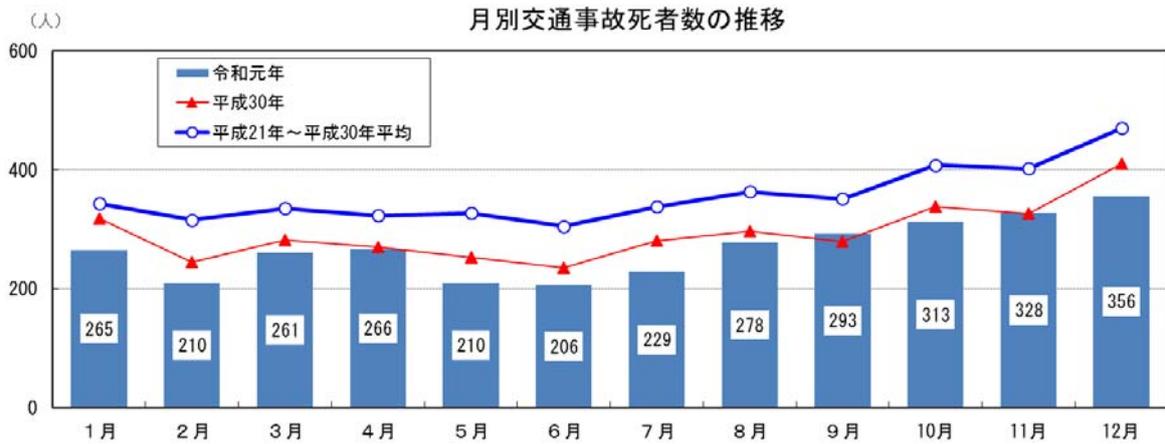
1 交通事故発生状況の推移

年	発生件数		負傷者数		死者数		人口10万人当たり	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	死者数(人)	指数
昭和 23 年	21,341	---	17,609	---	3,848	23	4.93	30
24	25,113	---	20,242	---	3,790	23	4.74	29
25	33,212	---	25,450	---	4,202	25	5.14	31
26	41,423	---	31,274	---	4,429	26	5.32	33
27	58,487	---	43,321	---	4,696	28	5.55	34
28	80,019	---	59,280	---	5,544	33	6.46	40
29	93,869	---	72,390	---	6,374	38	7.32	45
30	93,981	---	76,501	---	6,379	38	7.22	44
31	122,691	---	102,072	---	6,751	40	7.56	46
32	146,833	---	124,530	---	7,575	45	8.39	51
33	168,799	---	145,432	---	8,248	49	9.05	55
34	201,292	---	175,951	---	10,079	60	10.95	67
35	449,917	---	289,156	29	12,055	72	12.97	79
36	493,693	---	308,697	31	12,865	77	13.77	84
37	479,825	---	313,813	32	11,445	68	12.14	74
38	531,966	---	359,089	37	12,301	73	12.92	79
39	557,183	---	401,117	41	13,318	79	13.85	85
40	567,286	---	425,666	43	12,484	74	12.85	79
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83	14.15	87
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81	13.75	84
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85	14.22	87
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97	16.03	98
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.33	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97	15.69	96
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95	15.16	93
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87	13.58	83
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68	10.52	64
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.81	60
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58	8.70	53
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53	7.91	48
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52	7.69	47
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50	7.35	45
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52	7.45	46
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54	7.70	47
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57	8.02	49
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55	7.75	47
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56	7.70	47
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56	7.68	47
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62	8.46	52
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67	9.11	56
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66	8.99	55
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68	9.23	57
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64	8.54	52
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64	8.54	52
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59	7.92	48
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58	7.66	47
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54	7.12	44
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54	7.16	44
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52	6.90	42
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50	6.60	40
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
16	952,720	133	1,183,617	121	7,436	44	5.83	36
17	934,346	130	1,157,113	118	6,937	41	5.43	33
18	887,267	124	1,098,564	112	6,415	38	5.02	31
19	832,704	116	1,034,652	105	5,796	35	4.54	28
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
21	737,637	103	911,215	93	4,979	30	3.90	24
22	725,924	101	896,297	91	4,948	30	3.88	24
23	692,084	96	854,613	87	4,691	28	3.66	22
24	665,157	93	825,392	84	4,438	26	3.47	21
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
26	573,842	80	711,374	73	4,113	25	3.23	20
27	536,899	75	666,023	68	4,117	25	3.24	20
28	499,201	70	618,853	63	3,904	23	3.07	19
29	472,165	66	580,850	59	3,694	22	2.91	18
30	430,601	60	525,846	54	3,532	21	2.79	17
令和 元 年	381,002	53	460,715	47	3,215	19	2.54	16

- 注1 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの。ただし、昭和23年及び24年は補間補正人口））による。
- 2 交通事故件数及び負傷者数は、昭和34年以前は軽微な被害（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）事故を含まない。
- 3 交通事故件数は、昭和41年以降は物損事故を含まない。
- 4 交通事故件数、負傷者数、死者数及び人口は、昭和46年以前は沖縄県を含まない。
- 5 指数は、昭和45年を100とした値である。
- 6 令和元年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



2 月別交通事故死者数の推移



年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
	平成21年 (2009)		384	364	387	357	406	354	2,252	381	440	407	468	489	542	2,727
平成22年 (2010)		393	354	368	356	380	357	2,208	409	438	415	469	426	583	2,740	4,948
平成23年 (2011)		333	363	383	378	346	347	2,150	365	410	378	472	431	485	2,541	4,691
平成24年 (2012)		326	325	342	341	310	302	1,946	347	392	373	440	435	505	2,492	4,438
平成25年 (2013)		347	339	334	345	332	314	2,011	332	374	366	381	432	492	2,377	4,388
平成26年 (2014)		355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
平成27年 (2015)		346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
平成28年 (2016)		349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904
平成29年 (2017)		282	288	303	244	282	276	1,675	314	310	299	343	372	381	2,019	3,694
平成30年 (2018)		318	245	282	270	253	235	1,603	280	296	279	338	326	410	1,929	3,532
令和元年 (2019)		265	210	261	266	210	206	1,418	229	278	293	313	328	356	1,797	3,215
	増減数	-53	-35	-21	-4	-43	-29	-185	-51	-18	14	-25	2	-54	-132	-317
	増減率	-16.7	-14.3	-7.4	-1.5	-17.0	-12.3	-11.5	-18.2	-6.1	5.0	-7.4	0.6	-13.2	-6.8	-9.0
	1日当たり死者数	8.5	7.5	8.4	8.9	6.8	6.9	7.8	7.4	9.0	9.8	10.1	10.9	11.5	9.8	8.8

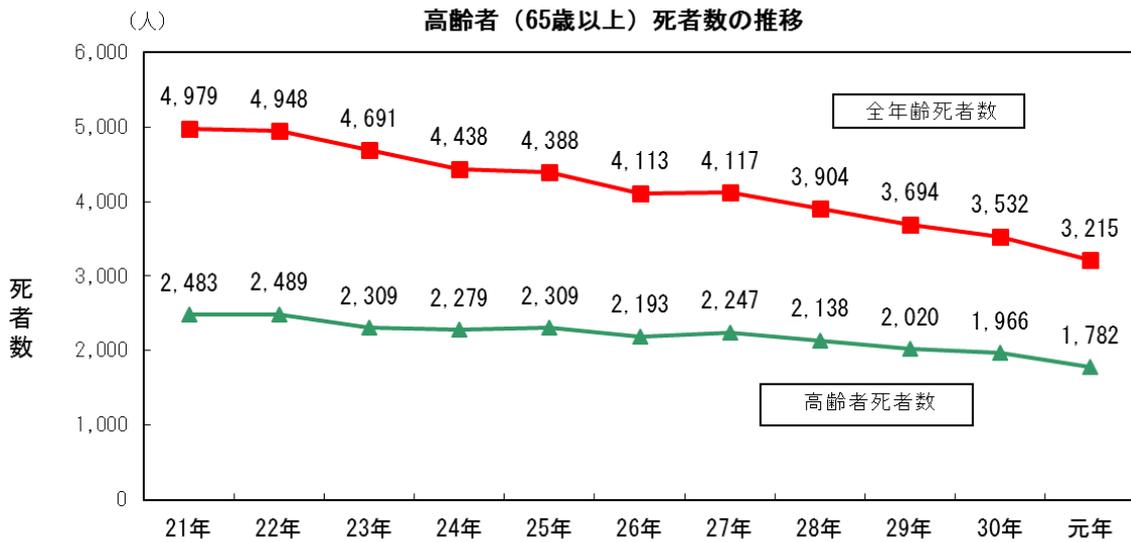
注 増減数(率)は、前年と比較した値である。

3 都道府県別交通事故死者数

都道府県		死者数			人口10万人当たり死者数		
		平成 29年	平成 30年	令和 元年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
北海道		148	141	152	2.77	2.65	2.88
東	青森	42	45	37	3.25	3.52	2.93
	岩手	61	59	45	4.81	4.70	3.63
	宮城	51	56	65	2.19	2.41	2.81
北	秋田	30	42	40	2.97	4.22	4.08
	山形	38	51	32	3.41	4.63	2.94
	福島	68	75	61	3.58	3.99	3.27
東京		164	143	133	1.20	1.04	0.96
関	茨城	143	122	107	4.92	4.22	3.72
	栃木	95	89	82	4.83	4.55	4.21
	群馬	67	64	61	3.41	3.27	3.13
	埼玉	177	175	129	2.43	2.39	1.76
	千葉	154	186	172	2.47	2.98	2.75
	神奈川	149	162	132	1.63	1.77	1.44
東	新潟	85	102	93	3.72	4.50	4.14
	山梨	37	37	25	4.46	4.50	3.06
	長野	79	66	65	3.78	3.18	3.15
	静岡	128	104	101	3.47	2.83	2.76
中	富山	37	54	34	3.49	5.11	3.24
	石川	34	28	31	2.95	2.44	2.71
	福井	46	41	31	5.88	5.26	4.01
	岐阜	75	91	84	3.71	4.53	4.21
	愛知	200	189	156	2.66	2.51	2.07
部	三重	86	87	75	4.76	4.83	4.19
	滋賀	55	39	57	3.89	2.76	4.04
	京都	66	52	55	2.53	2.00	2.12
畿	大阪	150	147	130	1.70	1.67	1.48
	兵庫	161	152	138	2.92	2.76	2.52
	奈良	40	45	34	2.95	3.34	2.54
	和歌山	38	36	33	3.98	3.81	3.53
中	鳥取	26	20	31	4.56	3.54	5.54
	島根	17	20	25	2.46	2.92	3.68
	岡山	97	68	75	5.07	3.57	3.95
	広島	91	92	75	3.21	3.25	2.66
	山口	79	52	45	5.67	3.76	3.28
四	徳島	34	31	41	4.53	4.17	5.57
	香川	48	44	47	4.94	4.55	4.89
	愛媛	78	59	42	5.67	4.33	3.11
	高知	29	29	33	4.02	4.06	4.67
九	福岡	139	136	98	2.72	2.66	1.92
	佐賀	36	30	34	4.35	3.64	4.15
	長崎	47	36	33	3.44	2.66	2.46
	熊本	73	60	69	4.11	3.40	3.93
	大分	44	39	41	3.79	3.39	3.58
	宮崎	42	34	39	3.83	3.12	3.61
	鹿児島	66	64	61	4.03	3.94	3.78
	沖縄	44	38	36	3.06	2.63	2.49
全国		3,694	3,532	3,215	2.91	2.79	2.54

注 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」
 (各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの))による。

4 高齢者（65歳以上）死者数の推移



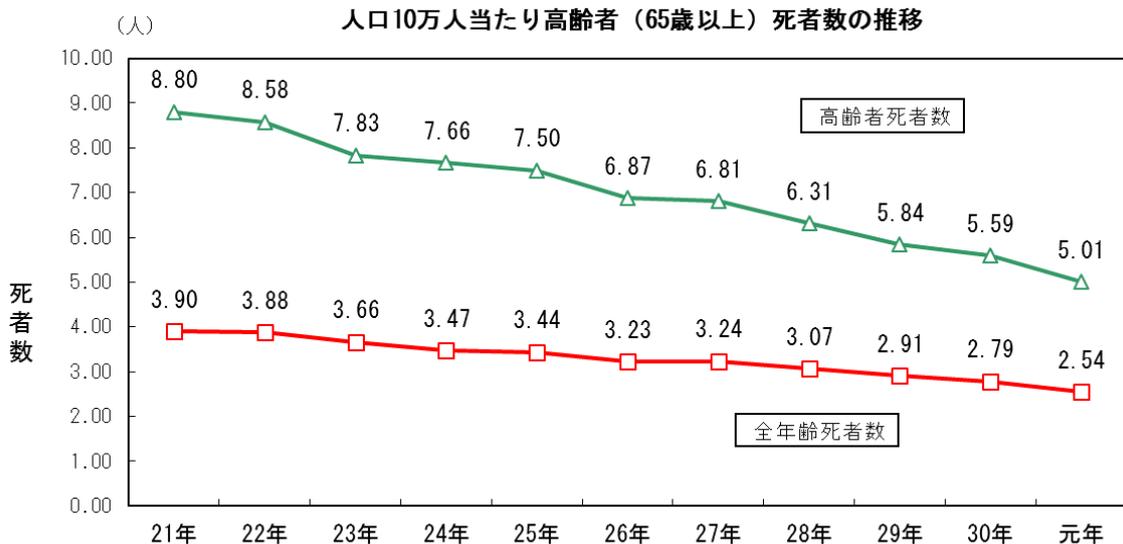
○ 高齢者（65歳以上）死者数の推移

	平成 21年 (2009)	平成 22年 (2010)	平成 23年 (2011)	平成 24年 (2012)	平成 25年 (2013)	平成 26年 (2014)	平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	増減数	増減率	指数
高齢者	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247	2,138	2,020	1,966	1,782	-184	-9.4	72
全年齢	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	-317	-9.0	65
高齢者構成率	49.9	50.3	49.2	51.4	52.6	53.3	54.6	54.8	54.7	55.7	55.4	-	-	-

注1 増減数（率）は、前年と比較した値である。

注2 指数は、平成21年を100としたものである。

注3 令和元年の高齢者死者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



○ 人口10万人当たり高齢者（65歳以上）死者数の推移

	平成 21年 (2009)	平成 22年 (2010)	平成 23年 (2011)	平成 24年 (2012)	平成 25年 (2013)	平成 26年 (2014)	平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	増減数	増減率	指数
高齢者	8.80	8.58	7.83	7.66	7.50	6.87	6.81	6.31	5.84	5.59	5.01	-0.59	-10.5	57
全年齢	3.90	3.88	3.66	3.47	3.44	3.23	3.24	3.07	2.91	2.79	2.54	-0.24	-8.8	65

注1 増減数（率）は、前年と比較した値である。

注2 指数は、平成21年を100としたものである。

注3 算出に用いた令和元年の高齢者死者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。

注4 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの））による。

5 死者3人以上の交通事故の発生状況（令和元年12月27日現在）

No.	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	3月13日 午前7時27分頃	市道 (千葉)	死亡3	普通乗用1	野田市内の市道において、普通乗用車が歩道に乗り上げ、歩行者をはね、歩行者3名が死亡したものの。
2	4月2日 午前0時40分頃	県道 (静岡)	死亡3 重傷1	軽四乗用1 大型貨物1	富士市内の県道において、軽四乗用車が対向車線にはみ出し、大型貨物車と衝突、軽四乗用車の同乗者3名が死亡し、運転者が重傷を負ったもの。
3	6月13日 午後1時05分頃	高速 (滋賀)	死亡3 軽傷2	大型貨物1 中型貨物1 普通乗用1	蒲生郡竜王町内の高速道路上において、大型貨物車が普通乗用車に追突、追突された普通乗用車が前方の中型貨物車に玉突き追突。普通乗用車の運転者及び同乗者2名が死亡したものの。
4	8月17日 午後4時59分頃	県道 (埼玉)	死亡3 軽傷1	軽四乗用1 中型貨物1	飯能市内の県道において、軽四乗用車が対向車線にはみ出し、中型貨物車と衝突、軽四乗用車の運転者及び同乗者2名が死亡し、中型貨物車の運転者が軽傷を負ったもの。

※ 各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。

6 国家公安委員会委員長のコメント

昨年の交通事故による死者数は、3,215人で、3年連続で戦後最少を更新しました。

これは、政府をはじめ、関係機関・団体や国民一人一人が交通事故の防止に向け、積極的に取り組んできた結果だと考えております。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、子供が犠牲となる痛ましい交通事故も依然として後を絶ちません。

国家公安委員会としては、子供をはじめとする歩行者の安全の確保や高齢運転者等の安全運転の励行等を重点として、各界各層と連携しながら、交通安全教育、交通指導取締り、交通安全施設等の整備、先端技術の普及活用等の諸対策を着実に推進するよう、警察を指導してまいりたいと考えております。

交通事故を防ぐために、自動車や自転車の運転者、歩行者がそれぞれ相手の立場に配慮し、思いやりの気持ちをもって行動するようお願いいたします。